



あい伸也県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

富士山噴火、県内にも降灰 交通ストップ、停電、断水も

即応体制の整備要望 阿井 県議

だれもが安心して住めるふるさとづくりに力を注いでいる阿井伸也県議(大網白里市、6期)は12月定例県議会一般質問に立ち、富士山噴火の降灰対策、新型コロナウイルス接種状況、九十九里・南房総地域水道用水供給事業体と県営水道の統合などについて、熊谷知事ら県執行部に質問しました。富士山が噴火すると、本県にも火山灰が降り注ぐとされていますが、阿井県議は「いつ来ても即応できるように、備えていたきたい」と、県の体制づくりを要望しました。12月定例県議会県土整備常任委員会とともに阿井県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。



登壇し、一般質問を行う阿井伸也県議

12月定例県議会一般質問

阿井議員 現在、我が国には111の活火山があり、気象庁及び札幌・仙台・福岡の各管区気象台に設置された「火山監視警報センター」においてこれらの活火山の活動を監視している。

その中でも「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として富士山や阿蘇山などの50の火山が「常時観測火山」として24時間体制で監視・観測されている。

国の中央防災会議では、特に1707年の「宝永噴火」から300年以上沈黙を守っている富士山について、雲仙普賢岳、有珠山、三宅島の火山災害における教訓も踏まえ、富士山の噴火に

よって影響の及ぶ可能性のある地域を対象に、国・都県・市町村等がとるべき方針として「富士山火山広域防災対策基本方針」を平成18年2月に定めた。

「富士山は300年ぶりの大噴火に向けたスタンバイ状態に入っている」と火山学の権威で京都大学名誉教授の鎌田浩毅氏は警告している。

そこだろうか、仮に富士山が大規模噴火した場合に、本県への影響をどう考えるのか。また、特に長期化が予想される降灰による被害について、どのように備えるのか。

知事 私も千葉市長時代、富士山噴火による降灰への備えが必要ではないかと防災危機管理部門に検討を指示し、神奈川県や鹿児島県などを参考に、千葉市地域防災計画のなかに降灰対策を加えた経緯もあります。

広域にわたる降灰は、交通障害、ライフラインの停止、健康被害など、県民生活や経済活動の様々な分野に大きな影響を及ぼすことから、被害を軽減するため対策を講じる必要があります。

あい伸也県議 PROFILE

- 昭和39年3月27日生まれ
- 大網小、大網中、長生高卒
- 法政大学法学部政治学科卒
- 国会議員公設秘書
- 平成31年4月千葉県議会議員選挙で6期目の当選
- 第73代千葉県議会議員
- 県議会 県土整備常任委員会委員
- 県議会 圏央道推進議員連盟会長
- 県議会 スポーツ振興議員連盟会長
- 千葉県 水道事業運営審議会委員

要望 阿井議員 今年度中に作成したうえで、ということだが、本県の約半分が2センチから5センチという降灰予測になっている。ぜひ、いつ来ても即応できるように備えていただきたい。

県政や地域についてのご要望、ご意見をお寄せ下さい

あい伸也事務所

〒299-3251 大網白里市大網155
TEL0475(73)0800
FAX0475(73)1465

ホームページ (URL) <http://www.aishinya.com>

E-mail info@aishinya.com

新型コロナウイルスワクチン

希望者の接種、ほぼ完了

3回目接種へ

阿井議員 県内市町村のワクチンの接種状況はどうか。

保健医療担当部長 現在、接種対象人口の約81%の方が2回目接種を終え、また、すべての市町村において、医療従事者、一部の職域接種や大学での接種を除いても2回目接種者の割合は78%以上となり、1回目接種者の増加率も僅かであることから、接種を希望する方への接種は概ね完了したものと考えています。

阿井議員 3回目のワクチン接種にあたり、市町村による接種の格差が生じないよう、どのように市町村を支援していくのか。

保健医療担当部長 3回目接種は、2回目接種後、8か月以上経過した18歳以上の希望者に行うこととされ、各市町村において、地域の実情に応じて計画的に接種体制の整備に取り組んでいるところですが、国から追加承認されるモデルナを活用して、8か月を

らは、「既存ワクチンのオミクロン株への効果等を一定程度見極めた上で、優先度に応じ、追加承認されるモデルナを活用して、8か月を

使用率ゼロの「幽霊病床」

県内ではケース無し

阿井議員 令和3年の8月末に、東京都では172病院のコロナ病床のうち、7病院で「病床使用率ゼロ」の「幽霊病床」があったと報道があった。本県では「県からの補助金を受け取りながら、病床使用率ゼロ」のいわゆる「幽霊病床」はあったのか。

保健医療担当部長 県では病院に対し、新型コロナウイルス感染症患者の入院のために確保する病床を登録するように求め、それに

て、補助金を支給しています。感染が拡大した令和3年7月下旬から9月上旬の間に病床を登録している病院の中で、患者を1人も受け入れなかったところはありませんでした。

新型コロナウイルス治療の廃棄物

他の廃棄物と分別し

許可業者に処理委託

阿井議員 新型コロナウイルス感染症に伴って、どのような廃棄物が排出されているのか。

環境生活部長 環境省が作成した「廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」によれば、新型コロナウイルス感染症に伴い排出される廃棄物には、「医療関係機関等から排出される、診断・治療・検査等に

使用された注射針、輸液点滴セット、手袋、ガーゼ」家庭や事業所、宿泊療養施設から排出される、感染者が使用したマスクやティッシュ、紙おむつ、食事の際の使い捨て食器」などがあります。

阿井議員 県内医療機関では「感染性廃棄物」をどのように管理・処分しているのか。

環境生活部長 感染性廃棄物については、廃棄物処理法に基づき、管理や処分に関する特別の基準が設けられており、具体的な手順を記載した感染性廃棄物処理マニュアルが示されています。

県では、同マニュアルにより適正処理を行うよう、医療関係団体等を通じて周知しており、医療機関では、感染性廃棄物を他の廃棄物と分別して、専用の密閉容器に保管した上で、収集運搬や中間処理の許可を受けた処理業者に委託するなどの処理を行っています。

余剰ワクチン 市町村間で直接融通

再質問

阿井議員 2回目

のワクチン接種でも見られた、接種予約者のキャンセル等によって生じた余剰ワクチンの「市町村間での直接的な融通」について、3回目の接種では、どのように対応するのか。

保健医療担当部長 余剰ワクチンが生じた場合の市町村間での直接的な融通が実施可能となったことから、各市町村における

過不足の調整については、市町村のワクチン保有状況について情報共有を行い、不足や余剰が生じないよう融通調整を行うなど、引き続き支援してまいります。

末端給水事業体の統合広域連携 県内7ブロックで議論



コロナ禍も、地域医療を支えてくださっている医療関係者の方々に心から感謝

阿井議員 この地球上の水の総量は、14億立方メートルと推定されているが、そのほとんどが海水であり、人類が容易に利用できる河川や湖沼などの淡水は、わずか0.008%、およそ1万分の1にすぎない。

我が国が普段、何げなく使っている水は、この地球の「水循環」と「水配分」によって成り立っていることを忘れてはならない。

我が千葉県では、この天の恵である水をとの様にして県民の誰もが、いつでもどこでも、等しく利用できる様にしていくのか、特に莫大な費用と年月をかけて築いて来た県内の水道事業をいかにして次の世代に引き継いでいくのか、持続可能な社会づくりの大きな柱ではないだろうか。

そこでうかがうが、令和元年9月に策定した、いわゆる「千葉県版水道ビジョン」の具体的な取り組み状況はどうか。

では、将来にわたり県民に水を安定して届けるために、県内水道事業体の経営健全化や、施設の計画的な更新などに取り組むこととしており、県では、市町村水道総合対策事業補助金等の交付や、立入検査等の機会を通じて助言を行っているところだ。

一方、今後本県においても人口減少が見込まれる中、個々の水道事業体の取り組みのみでは運営基盤の強化に限界があることから、統合・広域連携に取り組むこととしています。

現在、九十九里・南房総地域の水道水供給事業体と県営水道の統合に向け、副知事、副市町村長等が構成する統合協議会準備会議を設置し協議を進めているところであり、また、各地域の末端給水事業体においては、既に統合済みの君津地域を除く県内7ブロックにおいて、統合・広域連携に向けた議論が進められています。

総合企画部長 ビジョン

調整へ設置協議会統合

九十九里・南房総地域水道 用水供給事業体と県営水道

めていくこと、今後これらの事項を基本に、更に協議を進めていくことなどの合意が得られたところだ。

現在は、統合に向けた具体的な協議を行う場としての統合協議会の設置に向け、関係市町村等と調整を進めているところであり、引き続き、早期の統合実現に向けて取り組んでまいります。

統合後の管路耐震化 国から30億円見込む

再質問 阿井議員 国の交付金の活用により、

「水道用水供給料金の引下げ、基幹管路の耐震化などの施設整備を進める」とのことであるが、この交付金はいままで活用できるのか。また、どの程度金額を見込んでいるのか。

阿井議員 平成19年から具体的な検討が始めたリーディングケースである「九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合」の進捗状況はどうか。

総企画部長 統合協議会準備会議において、統合後における水道用水供給料金や施設整備の方針など、統合に係る基本的な事項について協議を進めてまいりました。

また、交付金の活用額について、現時点では、統合後の基幹管路の耐震化で30億円程度を見込んでおり、今後、統合後における施設整備計画を策定していく中で、老朽化対策等更なる活用を検討していくこととしております。

阿井議員 財務体質の脆弱な水道事業体ほど、管路の老朽化対策や耐震化、非常用電源の設置などが遅れている。ぜひ

要望 阿井議員 財務体質の脆弱な水道事業体ほど、管路の老朽化対策や耐震化、非常用電源の設置などが遅れている。ぜひ

けた具体的な協議を行う場としての統合協議会の設置に向け、関係市町村等と調整を進めているところであり、引き続き、早期の統合実現に向けて取り組んでまいります。

とも県内水道の統合・広域化を全体的に急ぐよう要望する。

老朽化水管橋 県内に13カ所

阿井議員 県営水道以外の県内水道事業体の水管橋の老朽化対策と非常用電源の確保の状況はどうか。

総企画部長 水管橋については、和歌山市で事故のあった水管橋と類似のものは129カ所あり、このうち法定耐用年数48年を経過するなど、老朽化の進んでいるものは13カ所です。

老朽化等による水管橋の事故を防ぐため、県では10月8日に県内水道事業体に対し、目視や打音など適切な方法による点検を実施し、必要に応じ修繕等を行うよう通知したところです。

非常用電源については、病院、避難所等の重要施設に給水する水道施設で、非常用電源を必要とする505施設のうち、可搬式電源による対応も含めると、約68%に当たる342施設で確保されています。

東京パラリンピック

県内開催競技の 遺産を生かそう

遺産を生かそう

阿井議員 コロナ禍の大変な中、関係者のご努力により、なんとか無事に開催する事ができた「東京パラリンピック・オリンピック」のレガシーとは何か。また、開催地となった本県は、どの様にこの実績を後世に残し活用して行くのか。更に地域活性化につなげて行くのか。

特に、千葉市の幕張メッセを会場として4種目(ヨールボール・シッティングバレーボール・テコンドー・車いすフェンシング)が開催され、県民・国民をはじめ世界中の人々に感動と共感を与えてくれた「パラスポーツ」のレガシーを本県にどの様に残して行くのか。今こそ「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の実現を目指すべきではないだろうか。

そこでかがうが、平成30年度から始まった特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ・レクリエーションセンターの移転を提言



県議会スポーツ振興議員連盟のメンバーとともに「障害者スポーツ・レクリエーションセンター」を視察する阿井伸也会長

障害者スポーツ・レクリエーションセンター 幕張への移転を提言

教育長 本事業では、特別支援学校を地域におけるパラスポーツの拠点とすることを目的に、県立特別支援学校全校にパラスポーツの競技用具を整備するとともに、毎年度指定する拠点校において、近隣の住民や児童生徒を対象にしたパラアスリートの実技指導や講演会等を実施しています。これらの取り組みを通じて

阿井議員 県がパラスポーツの拠点として位置づけられている「障害者スポーツ・レクリエーションセンター」の機能をどのように充実させるのか。

健康福祉部長 障害者スポーツ・レクリエーションセンターは、障害のある方が優先して利用できる体育室や多目的室などを有する施設であり、新型コロナウイルス感染症の影響下にあつた令和2年度にあつても、その利用率は体育室で98%に上るなど、極めて高い稼働状況にあります。

センターにおいては、これまで、体育室の床の張り替えの際に断熱材を敷設し、また、多目的トイレの改修を行うなどの機能の向上を図ってきたところです。

今後は、パラスポーツの拠点としての機能をより一層充実させるため、設備の充実を図るとともに、広報活動等にも努めてまいります。

で、特別支援学校の児童生徒が積極的にスポーツに取り組むなどの成果が見られたほか、地域の方々が特別支援学校の児童生徒と交流したり、競技大会のボランティアに参加したりする機会が増えています。

今後も特別支援学校が拠点となり、地域と連携しながら交流を継続し、障害がある人もない人も一緒にパラスポーツを楽しめるよう努めてまいります。

要望 阿井議員 11月26日にスポーツ議連で

現地を視察したが、今のセンターの場所では車いすや目の不自由な方が訪れるには歩道も狭く、坂道が続いていて危険である。駐車場もスペースが少なく不足している。建物自体も築36年と老朽化しており全体的に狭いなどの意見があつた。

千葉県のパラスポーツの拠点であれば、交通利便性がよく、バリアフリー化もされているところに、今の2倍か3倍の施設を作るべきではないかというのが総論であつた。

パラリンピック4競技を開催した幕張に本県のパラスポーツの拠点である障害者スポーツ・レクリエーションセンターを新設することこそが東京パラリンピックのレガシーであると言える。

知事に現在の障害者スポーツ・レクリエーションセンターをぜひご自身の目で視察するようお願いする。

12月定例県議会県土整備常任委員会

国道128号バイパス 4車線化工事急げ



県土整備常任委員会に臨む阿井県議

阿井議員 国道128号バイパスの4車線化の状況はどうか。

道路整備課長 国道128号バイパスについては、延長2.2キロのうち、県道千葉大網線と交差する経田交差点から茂原側の0.7キロの4車線分が、昨年3月に供用したところです。

現在、経田交差点から東金側の用地取得を進めており、用地取得率は約8割となっています。

また、つた用地が確保できたところから順次工事を進めており、拡幅部分の舗装工事や擁壁工事などを実施しているところです。

要望 規格が変わったので両サイド2メートルずつ用地買収をしなければならず、用地

がまだ確保出来ていないが、それほど歩道を歩く方がいない。0.7キロだけ4車線になるとかえってボトルネックを招く逆の現象になつてしまつた。

山田台からおりてくるバ

イパスが本来、同じ時期に開通ということだったが、先に開通しているため、ぜひ車道部分を先に工事を進めていただければと思う。

国道128号は緊急輸送道路1次路線に指定されている道路なので、ぜひ優先的に予算措置して整備を進めていただきたい。



国道128号線

二級河川小中川の改修 下流部から改修工事

阿井議員 県道千葉大網線と小中川の改修について、地元説明会の状況はどうだったのか。また、今後の事業の進め方、開始時期と終わりの時期はどうか。

河川整備課長 小中川につきましては、JR外房線から上流の池田橋まで0.9キロ区間の改修を進めることとしております。地元説明会は、10月17日に周辺地域の方々を対象に実施し、13名の方に参加していただいたところです。

なお、参加者からは工事

の実施に伴って通行止めとなる箇所の迂回方法の周知徹底や歩行者への安全対策などについて要望をいただきました。今後は、説明会が出された要望にも配慮しながら、事業を進めてまいります。

事業の進め方ですが、河川改修については、下流から進めていかなければならぬため、まずは下流から進めたいと思います。開始時期は令和2年度から開始しており、終わりの時期は、着手したばかりであることと、用地買収がありますので、現時点で完成年の明示は難しいです。

要望 阿井議員 ぜひ目標年次をもつて取り組んでいただきたい。県道千葉大網線、小中川の改修については、実際に被害も出ている。特に水の処理について気を配りながら進めていただきたい。

圏央道のスマートインターチェンジから市街地、駅周辺を結ぶ重要な道路なので、ぜひ、早期に整備を進めていただきたい。

阿井議員 二級河川小中川の改修、下流部から改修工事。河川整備と二級河川小中川並行0.5キロの地権者、あるいはその周辺の方々に対象にして、18名の方に参加いただいたところです。

説明会では、車道2車線両側歩道を基本とした道路構造等の事業の説明や、事業の流れを説明するとともに、併せて必要となる用地境界立ち合いへの協力をお願いしたところです。

なお、こちらの区間については、小中川が並行するというので、予備設計にあたり、河川の整備の計画と整合を測りながら進めているところであり、今後とも工程等を確認しながら一体的に進めてまいりたいと考えています。

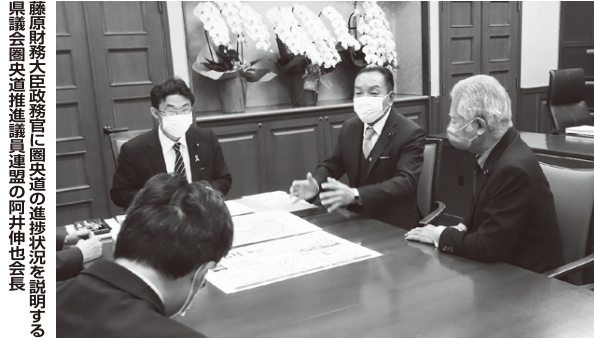
圏央道建設促進を訴え



JR成田駅前で行われている圏央道建設促進キャンペーン



その日の法被を着た圏央道建設促進キャンペーン参加者



藤原財務大臣政務官に圏央道の進捗状況を説明する阿井議員



国土交通省を訪れ、村山道路局長に圏央道建設促進の要望を手渡す阿井議員